

飯塚信用金庫が  
学校に図書券を寄附



5

月29日、飯塚信用金庫（本店・

飯塚市本町）から、町内の小・中学校に図書券（14万円分）が寄附されました。

この事業は、飯塚信用金庫創立70周年事業として始められ、本店、支店のある地域の小、中学校69校に対し

て毎年行っているもので、今回で15回目となります。町長室を訪れた、花村弘常務理事は「数ある金融機関のなかで、筑豊に本店を置くのは、飯塚信用金庫だけであり、この縁を大事にしたいと思い、この事業を行っています。毎回、大変喜んで頂いておりますので、これからも続けて行きたいと思っております」と、寄附の主旨を述べました。

これに対し、井上町長は、「元気なまちづくりを進めていくために、教育、福祉に力を入れているので、大変助かります。また、同席した佐谷教育長は、「活字離れの子供が多い昨今、子供の心を耕す意味でも、ありがたいです」と、それぞれ感謝の言葉を述べました。

テーマ別ミーティング報告

5月24日に開催された「健康づくりと医療費」の主な内容

【趣旨】自分の健康づくりは、結果として医療費の抑制につながる。私たちが何をすべきか、何ができるかを考える。

① がん検診

平成16年度の受診率は、福岡県32.6%に対して桂川町は42.8%。しかし、18年度からは個人負担が千円必要になったため、34.8%に減少している。

② 医療制度の改正

平成20年度から後期高齢者医療費制度をはじめ、医療制度が大きく変わると聞いている。一般の住民に分かりやすい情報を早めに提供して欲しい。

③ 地域福祉部

運動教室などの健康づくり活動を、地域福祉部と連携して取り組むのはどうか。高齢者は身近な場所での活動を希望している。

④ 体育指導委員会

体育指導委員会では、地域に出かけていく活動を重視しているので、健康体操の指導など声をかけて欲しい。

⑤ 生活習慣病

食からの健康づくりを目指して、ヘルスサポーター養成講座や男性料理教室等の取り組みに、手こたえを感じている。行政との連携と支援を期待している。

⑥ 地域支援事業

桂川町は「さくら園」と契約を締結し、特定高齢者を対象にした健康づくりに取り組んでいく。

⑦ 団塊の世代

団塊の世代の定年の時期が来ている。そういう人をボランティア活動など、積極的に町づくりに受け入れるような施策を考えてはどうか。

⑧ トレーニングルーム

総合体育館のトレーニングルームを活用して、高齢者の健康づくりに活用することはできないか。

井上町長は、「すぐに対応できるものは、早急に対応していきたい。中長期的なものは、今後もミーティングの中で検討を深めたい」と、意向を示しました。